

令和4年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号

47

学校名 (課程)

諏訪実業高等学校 (定時制)・通信制

1 目標

○ 仕事と学業の両立を通して社会性を養い、地域に貢献できる人材の育成

2 現状・課題

中学時代に様々な課題に直面して自信を持っていない生徒が多いなか、キャリア教育の多方面からの取組により、自己肯定感を養い、将来に向けて社会性を高めることが必要である。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。

学校で言い換えた力でもよい。

- a 基本的な生活習慣の確立と基礎的・基本的な知識と技能 (自己管理能力の育成)
- b 自己を肯定的に理解し、他者とのコミュニケーションをはかる。(自己理解力・人間関係形成能力・社会形成能力の育成)
- c 様々な職業について理解し、自らの進路実現に向かって努力する。(課題対応能力・キャリアプランニング能力の育成)

4 内容

| 指導項目 | 指導方針〈対応する項目〉 |
|---|---|
| ① 自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する | ア 教育活動・学校生活全体を「キャリア教育の場」ととらえる。生徒にも意識させる。 イ 各取り組みのつながりを意識し、4年間の系統的な指導を行う。 |
| ② 仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む | ウ 年度末に評価(教員・生徒自身)を行い次年度の取り組みや指導に生かす。 エ 社会や世界の様々な現実や課題、人間の生き方について考えさせる。(①) |
| ③ 様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す | オ 知識、技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランス、言語活動の充実を図る。学んでいることと社会のつながりを意識させる(②、④) |
| ④ 卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む | カ 家庭や地域社会、産業界等の力を活用する。アルバイト等の就業経験を活用する。(②、③) キ 在学中の就業体験・実績が卒業後の進路に結びつくような方向を検討する。(④) |

| 指導場面等 | 指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉 |
|----------------------|---|
| 教科の授業 | ・習熟度別やTT授業を可能な範囲で実施し、基本的な知識と技能の定着を目指す。(1～4年) ・資格取得を奨励する。(1～4年) |
| 総合的な探究の時間 | ・生活体験発表(7月)と文集制作(3月)に向けた、発表準備や原稿作成を行う。(1年次) ・生活体験発表や文集制作に向けた準備と共に、生徒の興味・関心と進路を見据えた学習を行う。(3～4年次) ・金融教育の推進(1年次) |
| 特別活動 | ・校友会活動への参加(1～4年)とリーダーシップの涵養(3, 4年) ・進路講演会(全学年)、適性検査・レディネステスト(3, 4年)の実施。 |
| 校外の体験活動 (就業体験活動等) | ・就業(体験) ・福祉施設体験、ボランティア、オープンキャンパス(1～4年) |
| 地域や産業界等との連携 | ・就業(体験) ・定時制教育振興会の諸活動との提携(1～4年) ・諏訪地域障害者自立支援センターやハローワークとの連携(4年) |
| 評価 | ・生徒・教員アンケートや面接等で生徒の変容とキャリア教育の取組みを評価し、次年度の改善に反映(1～4年) ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用(1～4年) |

| | |
|---------------------|---|
| 中学校との連携 (指導の継続性) | <ul style="list-style-type: none"> ・高校入学までのキャリア教育の振り返り(入学時) ・学校説明会や学校見学で、定時制のキャリア教育を説明 |
| 校内の推進体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育推進委員会(教頭、進路係、総務、学習指導係、定時制教育振興会係、特別支援委員会)を中心に、全職員で推進。(1~4年) ・就労先との連携を図る。(1~4年) |
| キャリア・パスポートの取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・LHR等を活用して、各教科で学んだことや学校行事で得られた体験を整理し、記述してまとめる。 ・整理した内容から自分の成長を認め、他者と語り合うことで自己肯定感を養う。 |

5 学年別指導計画

| | 1 年 | 2 年 |
|---------|---|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> ○学校社会への適応と、そのために必要な基本的な生活習慣の確立と、基礎的・基本的な知識および技能の習得 ○高校生活の目標の作成 | <ul style="list-style-type: none"> ○自己を理解し、他者および社会との良好なコミュニケーションをはかる能力の獲得 ○高校2年次の目標の作成 |
| 主 な 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> ○高校生活への適応、仲間作り ○生活体験発表(7月)と文集制作(3月)に向けた、発表や原稿作成に必要な基礎的・基本的な知識および技能の習得 ○アルバイト等の就業指導 ○各種大会や行事への積極的な参加を促し、その取り組みを助言 | <ul style="list-style-type: none"> ○生活体験発表(7月)と文集制作(3月)に向けた、発表や原稿作成に必要な基礎的・基本的な知識および技能の習得 ○職場訪問などを通して、生徒の職場の状況の確認と就業指導。および、アルバイト等の就業指導 ○各種大会や行事への積極的な参加を促し、その取り組みを助言 |
| 評 価 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・面接 ・教員・生徒アンケート ・PDCA サイクルによる自己評価チェック | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・面接 ・教員・生徒アンケート ・PDCA サイクルによる自己評価チェック |

| | 3 年 | 4 年 |
|---------|---|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> ○自らの進路について必要な情報を収集するためのノウハウやスキルの獲得 ○自らの進路について、主体的に判断し、選択できる力の獲得 ○高校3年次の目標の作成 | <ul style="list-style-type: none"> ○他者との良好な関係を築きながら、社会人としてたくましく主体的に生きるための実践的な経験と能力の獲得 ○校友会活動、文化祭活動などでの成果 ○高校最終学年の目標の作成 |
| 主 な 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> ○進路適性検査等を通じて、自身の適性と進路実現に向けての具体的な目標設定と計画を立てる。 ○自身の就業体験等も参考にしながら、具体的な進路選択の方向性を探る。(就労支援) ○各種大会や行事への積極的な参加を促し、その取り組みを助言 | <ul style="list-style-type: none"> ○就職試験に向けての日程に沿った進路指導。 ○進学希望者への個別指導 ○労働者の権利等についての学習 ○校友会活動 ○各種大会や行事への積極的な参加を促し、その取り組みを助言 |
| 評 価 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・面接 ・教員・生徒アンケート ・PDCA サイクルによる自己評価チェック | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・面接 ・教員・生徒アンケート ・進路状況 |

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

| | 教科 | 総合的な探究の時間 | 特別活動 | その他(面接・評価等) |
|--|---|---|---|---|
| 1年 | 4 基礎学力の確認 シラバス説明 俳句指導 「情報Ⅰ」情報社会における問題点 生活体験文の作成指導 | 探究とは何か? 過去の振り返り 友人と語る 教員と語る 情報収集 情報の整理 発表会の準備 | 高校生活ガイダンス▶ <u>観桜会</u> 交通講話 保健講話 進路講話 文化祭 | 面接 |
| | 7 | 生活体験発表会(校内) | | 三者面談 |
| | 夏休 | | <u>サマーチャレンジボランティア(希望者)</u> | |
| | 9 文集制作の作文指導 「情報Ⅰ」コミュニケーションと情報 12 デザイン | 発表の振り返り 自己分析 友人と語る 教員と語る 金融教育 (消費生活と契約、税、社会保障制度) | <u>バス遠足</u> 芸術鑑賞 防災訓練 全校運動 人権教育 県生活体験発表会 生活安全講話 生徒会冬行事 | 保護者懇談会 生徒・教員アンケート |
| 1 「情報Ⅰ」情報通信ネットワークとプログラミング 3 文集制作の作文指導 | 原稿の作成 1年間の活動の振り返り | 百人一首大会 卒業生送別会 生徒会文集「科」の発行 | 三者面談 生徒意識調査(県教委) 生徒・教員アンケート 自己評価 | |
| 春休 | | 2年生になるにあたって、振り返り | | |
| 2年 | 4 基礎学力の確認 シラバス説明 俳句指導 商業「簿記」 生活体験文の作成指導 「公共」倫理 7 「家庭総合」青年期の自立と家族・家庭および社会 | 発表会の準備(情報収集・整理・制作) 生活体験発表会(校内) | 新入生歓迎会企画運営▶ <u>観桜会</u> 交通講話 保健講話 進路講話 文化祭 | 面接 |
| | 夏休 | | <u>サマーチャレンジボランティア(希望者)</u> | |
| | 9 商業「簿記」 「公共」政治 「家庭総合」共生生活と福祉 12 | 資格取得の奨励 (漢字中級、英語中級、商業簿記) 文集「科」の原稿制作 (情報収集・整理・制作) | <u>バス遠足</u> 芸術鑑賞 防災訓練 全校運動 人権教育 県生活体験発表会 生活安全講話 生徒会冬行事 | 保護者懇談会 生徒・教員アンケート |
| | 1「公共」経済 商業「簿記」 文集制作の作文指導 3「家庭総合」食生活の科学と文化 | 文集「科」の原稿制作 | 百人一首大会 卒業生送別会 生徒会文集「科」の発行 | 三者面談 生徒意識調査(県教委) 生徒・教員アンケート 自己評価 |
| 春休 | | 3年生になるにあたって、振り返り | | |
| 3年 | 4 基礎学力の確認 シラバス説明 俳句指導 「情報処理」企業活動と情報処理 生活体験文の作成指導 「家庭総合」衣生活・住生活の科学と文化 7 | 資格取得の奨励 (漢字上級、英語上級、上級簿記) 進路希望調査 職業適性検査 発表会の準備(情報収集・整理・制作) 生活体験発表会(校内) | 新入生歓迎会企画運営 <u>観桜会</u> 交通講話 保健講話 進路講話 文化祭 | 面接 |
| | 夏休 | | <u>大学説明会(希望者)</u> <u>就労体験活動(希望者)</u> | |
| | 9 「情報処理」コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 文集制作の作文指導 「家庭総合」生活における経済の計画・消費行動 12 | 資格取得の奨励 (漢字上級、英語上級、上級簿記) 文集「科」の原稿制作 (情報収集・整理・制作) | <u>バス遠足</u> 芸術鑑賞 防災訓練 全校運動 人権教育 県生活体験発表会 生活安全講話 生徒会冬行事 | 保護者懇談会 生徒・教員アンケート |
| | 1 「情報処理」情報の集計と分析 文集制作の作文指導 3 「家庭総合」ホームプロジェクト | 資格取得の奨励 (漢字上級、英語上級、上級簿記) 文集「科」の原稿制作 | 百人一首大会 卒業生送別会 生徒会文集「科」の発行 | 三者面談 生徒意識調査(県教委) 生徒・教員アンケート 自己評価 |
| 春休 | | 4年生になるにあたって、振り返り <u>大学説明会(希望者)</u> <u>就労体験活動(希望者)</u> | | |
| 4年 | 4 基礎学力の確認 シラバス説明 俳句指導 「情報処理」ビジネス文書の作成 生活体験文の作成指導 | 進路希望調査 進路ガイダンス レディネステスト 作文指導・一般常識問題 発表会の準備(情報収集・整理・制作) 生活体験発表会(校内) | 新入生歓迎会企画運営 <u>観桜会</u> 交通講話 保健講話 進路講話 文化祭 | 面接 |
| | 夏休 | | <u>大学説明会(希望者)</u> <u>就労体験活動(希望者)</u> | |
| | 9 「情報処理」プレゼンテーション 文集制作の作文指導 | 面接指導 社会に出る前に(職場で必要なルール) マナー講座、消費者講座など 文集「科」の原稿制作 | <u>バス遠足</u> 芸術鑑賞 防災訓練 全校運動 人権教育 県生活体験発表会 生活安全講話 生徒会冬行事 | 保護者懇談会 生徒・教員アンケート |
| | 12 1 3 文集制作の作文指導 | 社会に出る前に(職場で必要なルール) 年金講座、社会福祉講座 など | 百人一首大会 卒業生送別会 生徒会文集「科」の発行 卒業するにあたって、振り返り | 三者面談 生徒意識調査(県教委) 生徒・教員アンケート |